

【証券コード 4401】

ADEKAグループ 中期経営計画

『ADX 2026』

(2024-2026年度)

株式会社 ADEKA



1. 前中期経営計画『ADX 2023』の振り返り … P 3

2. 中期経営計画『ADX 2026』 … P 7

- ・ 位置付け／基本方針
- ・ 経営指標／外部環境認識
- ・ 基本戦略／セグメント別 業績目標
 - 「稼ぐ力の強化、高収益構造への転換」
 - 「環境貢献製品の拡大、事業構造変革によるG H G削減」
 - 「経営基盤の強靱化」
- ・ 設備投資計画
- ・ 配当方針

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

前中期経営計画『ADX 2023』の振り返り

業績推移

米中摩擦

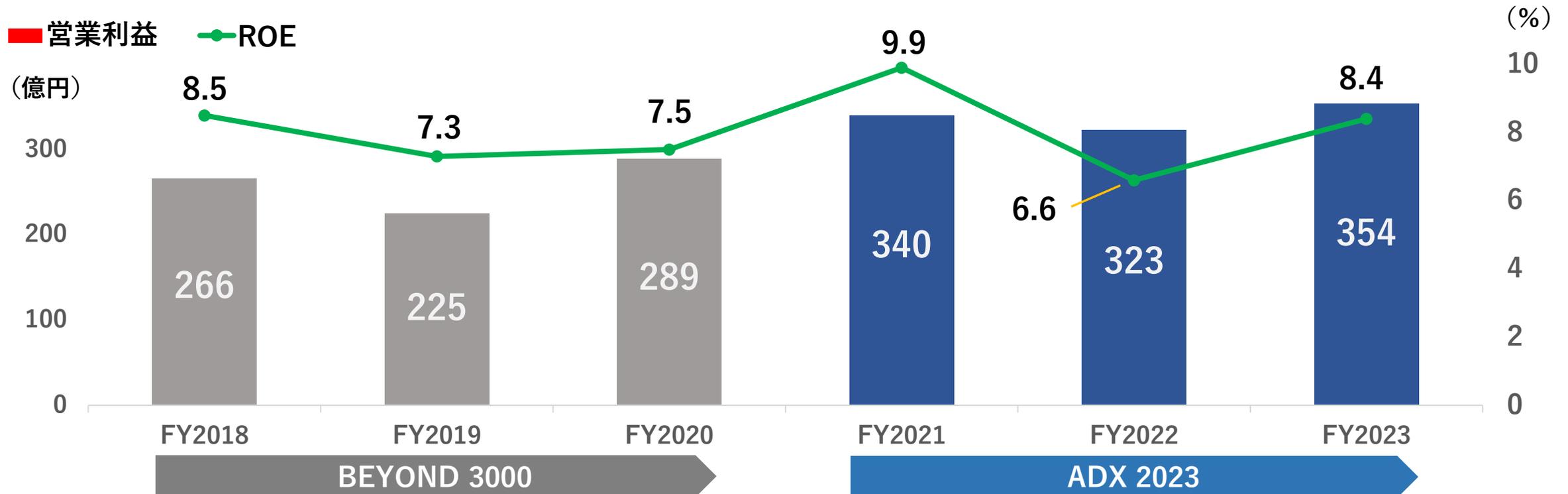
COVID-19

ウクライナ危機

中東危機

- ・ ロックダウン
- ・ 急速なデジタル化
- ・ インバウンド消失
- ・ 物流の混乱
- ・ 供給制約
- ・ 在庫積上り
- 金利格差
- ・ 原材料、資源価格高騰
- ・ インフレ、円安進行

売上高 (億円)	2,993	3,041	3,270	3,612	4,033	3,997
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



経営指標の総括

社会価値と経済価値を両輪で追求し、A D E K Aグループ初の営業利益300億円超を達成

	2023年度 計画		2023年度 実績	
	当初計画 (2021年4月)	上方修正 (2022年8月)		
営業利益 (売上高)	350億円 (3,800億円)	420億円 (4,300億円)	354億円 (3,997億円)	未達
R O E	9%	9%	8.4%	未達
設備投資額	500億円 *1	500億円 *1	557億円	達成
配当性向	30%以上維持 *2	30%以上維持 *2	40.0%	達成

*1 カーボンニュートラルの実現に向けた環境投資を含む。

*2 適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

前中期経営計画『ADX 2023』の振り返り 基本戦略の進捗と成果

基本戦略「収益構造の変革」

- 戦略製品、環境貢献製品の売上拡大
- 自動化技術を6件導入、製造効率化

基本戦略「新規事業領域の拡大による持続的な成長」

新製品開発は計画値に未達も、
半導体・PBF・電池等の分野で新製品創出・開発前進
(プラントベースフード)

- アライアンスによる事業強化、子会社再編(合理化・効率化)

基本戦略「グループ経営基盤の強化」

- 新しい社会環境に適応するべく「変革」を掲げ施策を遂行

ガバナンス

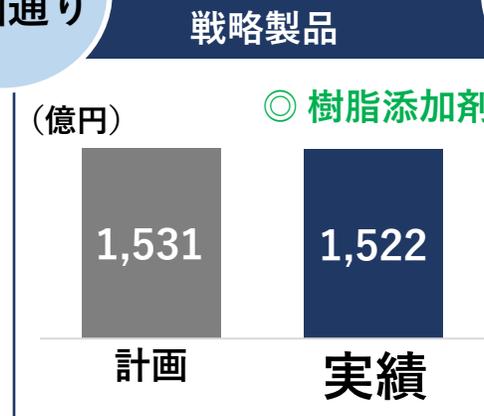
気候変動対応

働き方改革
DE&I

デジタル化
推進

財務基盤
強化

概ね
計画通り



達成



前進

新製品開発・事業化推進

次世代二次電池用
活物質
「SPAN」

独自テストセルで
世界最軽量セルの実証に成功

事業ポートフォリオ拡充・最適化

化学品

食品

ライフサイエンス

子会社化
(株式取得)

国内子会社再編
(合併)

子会社化
(株式取得)

グラフィエン

食品・資材

生物農薬等

中期経営計画『ADX 2026』



ADX 2026

さらなる変革を
実行する3年間

- ADEKA VISION 2030の実現に向けたセカンドステージ
- 利益と効率性に重点を置き、稼ぐ力を高める3年間
- 成長戦略としてサステナビリティを推進し、
更なる変革を実行する3年間

ADEKA VISION 2030
～持続可能な社会と豊かな暮らしに貢献する
Innovative Company～

バックキャスト

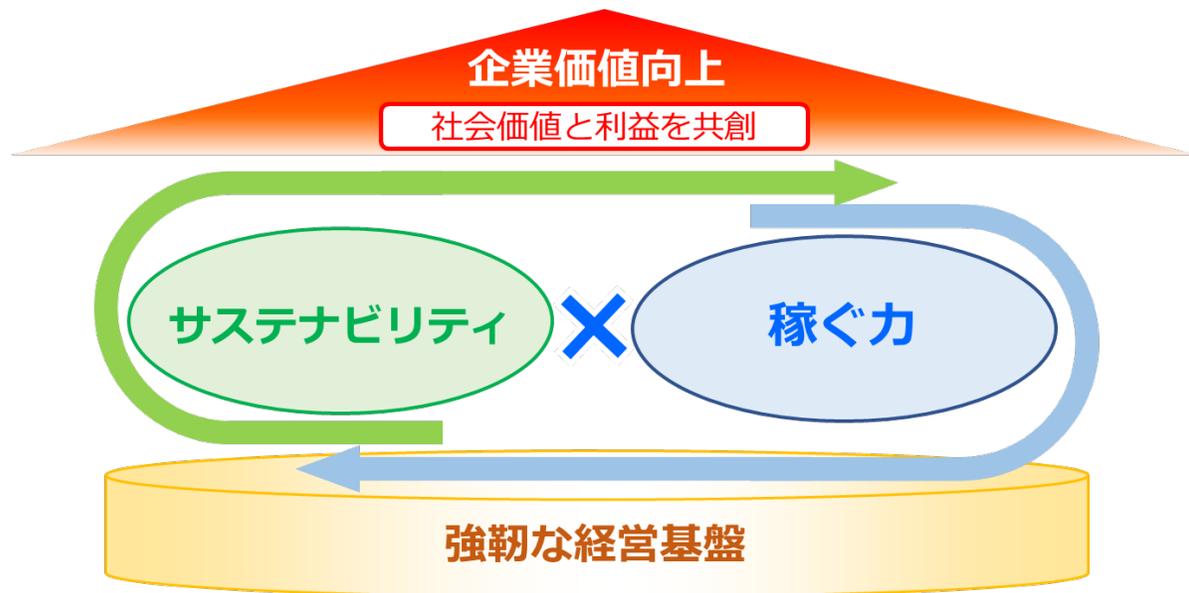
ADX 2023

社会価値 + 経済価値

ADX 2026

成長戦略として
サステナビリティ推進

サステナビリティの推進により、
社会価値の向上と持続的な成長を実現する
～稼ぐ力・サステナビリティ・強靱な経営基盤～



- ・ **稼ぐ力**を強化し、利益を重視した持続的な成長を図る。
- ・ **サステナビリティ**に向けた取り組みを推進し、社会課題解決の機会を取り込んだ成長戦略を遂行する。
- ・ **経営基盤**を強靱化し、不確実性の高い環境において機動的に対応する。

経営指標

財務指標 (2026年度)	営業利益	530億円 (売上高5,000億円)
	ROE	11.0%
	ROIC	10.5%
サステナビリティ*1 指標 (2026年度)	環境貢献製品売上高	1,150億円 (2019年度比 2.5倍)
	GHG排出量	199千t-CO2e (2013年度比 13%削減)*2
	女性管理職比率	6%以上 (単体)
設備投資額		750億円 (3カ年)
配当方針 (配当性向)		40%以上 *3

*1 ADEKAグループサステナビリティ優先課題に関する指標

*2 CO₂ equivalent (CO₂換算値)。様々な温室効果ガスの量をCO₂相当量に換算して統一的に表す単位

*3 適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

外部環境認識 (FY2024-2026)

社会環境

アフターコロナ、脱炭素、デジタルなど
業界構造が大きく変化

機会

半導体市場の成長

カーボン
ニュートラル

リスク

地政学的な緊張

原材料・為替

ナフサ ▶ 70ドル/バレル 前後 (2026年)

パーム油 ▶ 2022年の価格高騰から下落傾向

ドル前提 138円/\$ ユーロ前提 149円/€

ターゲット市場の見通し

■ 化学品 ■ 食品 ■ ライフサイエンス ■ その他

自動車

新車生産台数は増加
x EV増加

半導体

生成AIの急拡大
ロジックICの需要拡大

食品 (パン市場)

世界人口増加
中国、インドで消費拡大

農薬

効率的な食料生産
× 新興国の経済発展
中南米、アジアで需要拡大

■ 樹脂生産	グローバルで年2%強の成長見通し
■ ディ스플레이	面積ベースで増加、金額ベースで減少
■ プラントベースフード	健康・環境面から乳代替製品が普及拡大
■ LiB市場	x EV・蓄電池向けLiBの需要拡大

基本戦略

基本戦略 1

稼ぐ力の強化、
高収益構造への転換

- 情報・電子材料の拡大
- 各セグメントにおける低収益事業の再構築
- 戦略製品*1の拡大
- 新製品*2の拡大、新規事業の推進
- 資本効率性の向上

基本戦略 2

環境貢献製品の拡大、
事業構造変革によるGHG削減

- 環境貢献製品の拡大と創出
- カーボンニュートラルに向けたGHG*3 排出量削減
- サステナビリティ優先課題の取組み

基本戦略 3

経営基盤の強靱化

- サプライチェーンの強靱化
- 人的資本の向上に向けた取組み
- DX推進

*1 戦略製品：成長エンジンとして拡大する、営業利益・売上高でインパクトのある25製品群

*2 新製品：単年ではなく販売期間や収益基準など一定の基準に基づいて設定

*3 GHG（Greenhouse gas）：温室効果ガス

セグメント別 業績目標

為替前提

138円/\$
149円/€

FY2026 計画

FY2023 実績

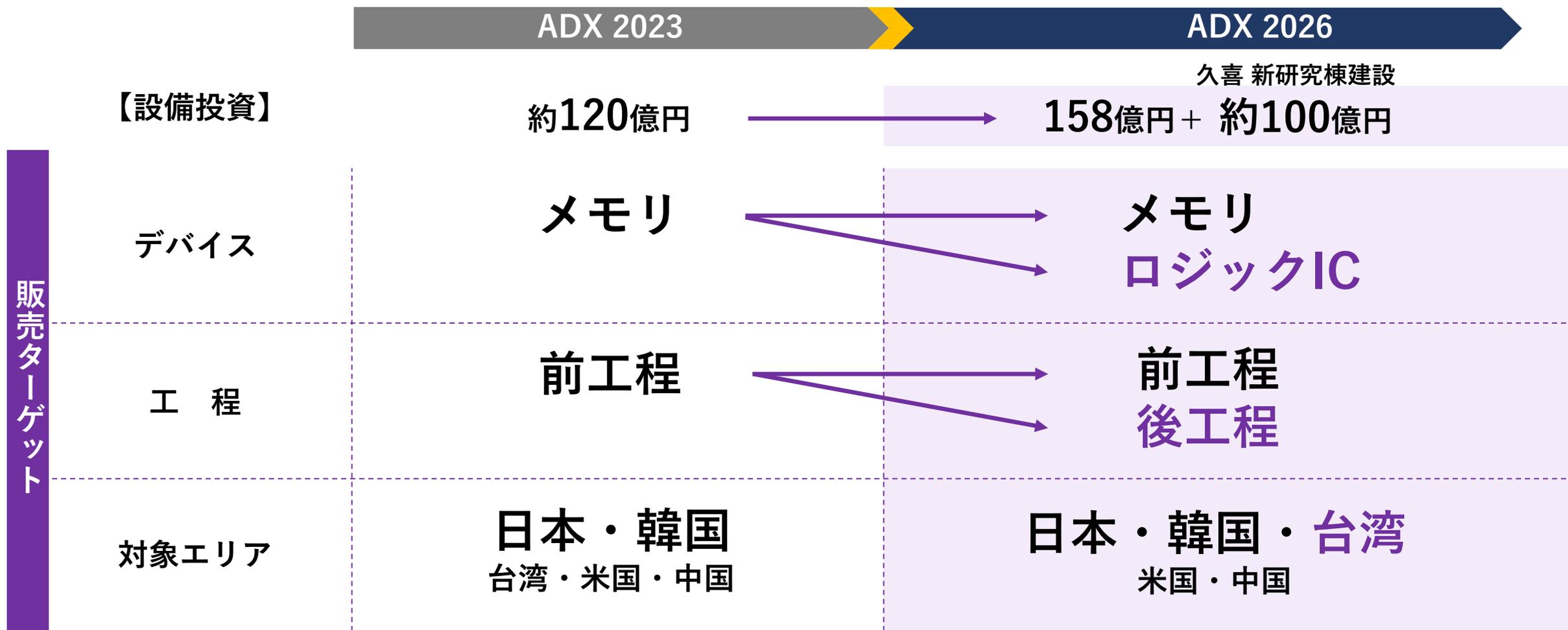
(単位：億円)

	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率
全社トータル	5,000	530	10.6%	3,997	354	8.9%
化学品	2,763	364	13.2%	2,041	236	11.6%
樹脂添加剤	1,332	109	8.2%	1,004	79	8.0%
情報・電子化学品	626	153	24.4%	390	97	25.1%
機能化学品	805	102	12.7%	646	59	9.1%
食品	928	62	6.7%	840	41	4.9%
ライフサイエンス	1,200	97	8.1%	1,030	59	5.7%
その他	106	5	4.7%	86	17	19.9%

* 金額は億円未満を切り捨てて表記

化学品事業 | 情報・電子材料の拡大① 領域拡大

「半導体材料」に最注力、久喜新研究棟建設を含め積極的な設備投資を計画



ADX 2023

ADX 2026

最先端半導体を“素材”でリードし、サステナブル社会を支えるSociety 5.0 を実現

半導体

- ・ 先端DRAM向け材料の増能
- ・ 韓国・R&Dセンター移転拡大

台湾・ALD材料の新プラント完成

光酸発生剤の増能・稼働

久喜新研究棟の建設決定

前工程
↑
↓
後工程

DRAM

ALD材料
(高誘電材料)

- ・ 増能した高誘電材料の販売拡大
- ・ キーマテリアルの持続的な開発

ロジックIC

ALD材料
(配線その他)

- ・ 台湾の新プラント稼働、販売拡大
- ・ トランジスタの構造変化へ対応 (新規材料開発)

フォトレジスト

光酸発生剤
+ 周辺材料

- ・ 増能した先端レジスト向け材料の販売拡大
- ・ 次世代レジスト向け材料開発・量産体制構築

半導体
パッケージ等

配線・封止・接合
+ α

- ・ 高集積化等に対応した材料開発
- ・ 複数材料で市場開拓

化学品事業 | 情報・電子材料の拡大③ エリア戦略と施策

A L D材料のシェア堅持と技術開発強化

前中計で投資した先端材料の
本格稼働と投資継続



▲ ADEKA KOREA R&Dセンター
(移転拡充し、2024年3月開所)

ロジック半導体ビジネスの構築

新プラント稼働と
次世代向け投資継続



戦略センター



米国市場の開拓

23年秋に開設した
オレゴン州営業所の本格稼働



▲ 富士工場 高純度過酸化水素設備
(2024年7月 営業運転開始予定)

最先端の研究・生産技術開発
+ 国内半導体製造への対応

- 光酸発生剤の販売拡大と投資継続
- 久喜新研究棟の建設 (26年1月完工)
- 高純度過酸化水素の増能

化学品事業 | 樹脂添加剤① 戦略とターゲット

事業基盤を強化し、社会価値と経済価値を両立させたグローバルで存在感のある事業を目指す

事業戦略

環境貢献製品の拡販

トップシェア製品の育成・強化
事業領域の拡大

品種統合、コストダウン
による収益性強化

ADX 2023

ADX 2026

販売ターゲット

市場

自動車、建材・インフラ、
家電、医療、食品包装 …



再生樹脂、農業、環境

対象エリア

継続

アジア、北米、欧州、中東 等

化学品事業 | 樹脂添加剤② 注力製品と施策

環境貢献製品の拡販

プラスチックに難燃性を付与（有害物質やCO、煙発生を抑制）

『アデカスタブFP』シリーズ

拡大

現在

家電筐体（白物・黒物）

XEV（電気自動車）

さらに用途拡大

循環型社会の実現に貢献し、樹脂産業の発展を支える

『アデカシクロエイド』シリーズ

リサイクル樹脂用添加剤

塩ビ用バイオマス可塑剤

トップシェア製品の育成・強化 事業領域の拡大

「新製品*」の上市

光安定剤の用途展開

生産供給体制を確立
早期に市場投入

*現時点では未公表

自動車

農業用フィルム
屋外用シート

屋外用ルーフィング

設備投資計画

UAE

ADX 2023

ワンパック顆粒添加剤
3rdライン設備

ADX 2026

「新製品」
CN*関連、設備の維持更新

*カーボンニュートラル

化学品事業 | 機能化学品① 戦略とターゲット

モビリティ・エレクトロニクス・GX*関連への経営資源集中と事業構造改革

*グリーントランスフォーメーション

事業戦略

戦略的に海外展開を推進し、
グローバルニッチ市場でトップシェアを狙う

事業構造改革

カーボンニュートラルへの対応

新規事業創出

低収益事業の再構築

ADX 2023

ADX 2026

販売ターゲット

市場

次世代自動車、
サニタリー・化粧品、インフラ等

+

モビリティ、
エレクトロニクス、GX

対象エリア

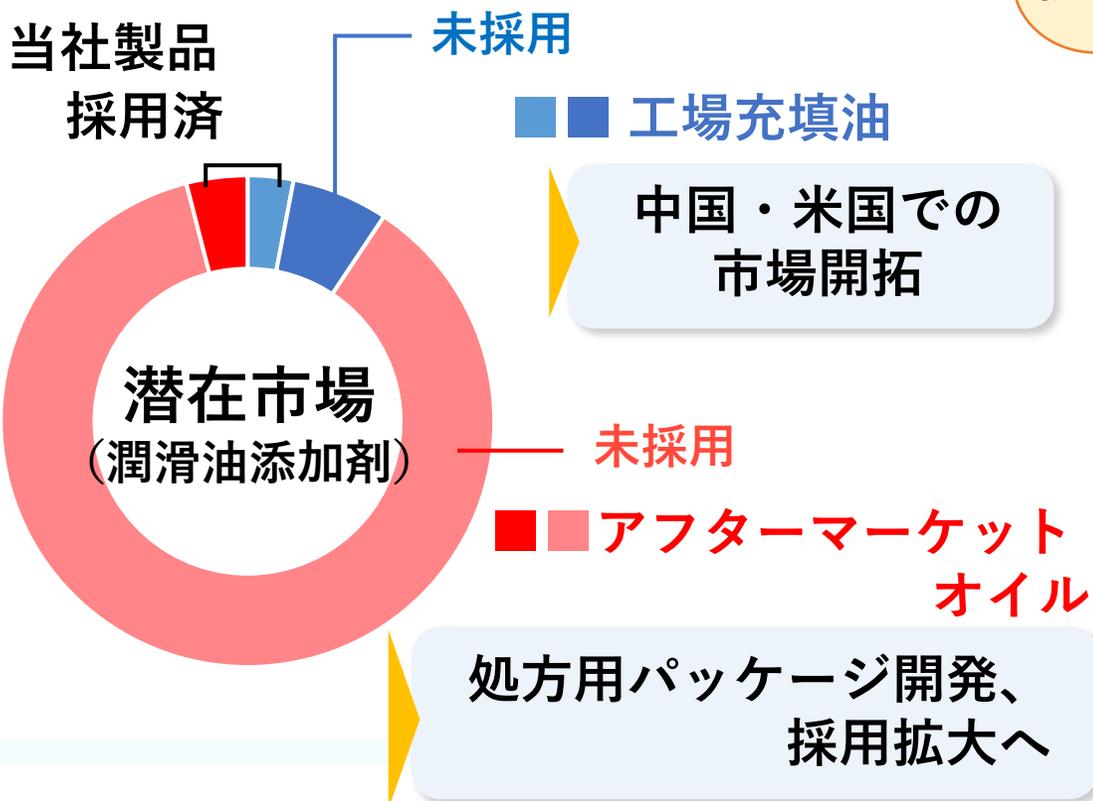
継続

アジア、北米、欧州

モビリティ → 環境・GX

自動車の燃費向上、CO₂eの排出低減

『アデカ サクラループ』シリーズ



カーボンニュートラルへの対応 (～2030)

CN*対応原料
再エネ活用

生産工程の最適化
(原単位の削減)

国内の業界再編の動向を握り、
強靱なサプライチェーンを構築

設備投資計画

ADX 2023

富士工場

高純度過酸化水素

三重工場

エポキシ樹脂接着剤

ADX 2026

カーボンニュートラル関連
設備の維持更新

*カーボンニュートラル

食品事業① 戦略とターゲット

競争力のある戦略製品を中心にグローバル展開を加速、海外営業利益比率を向上させる

事業戦略

高機能製品と環境貢献製品の拡大

海外市場の拡大
ターゲット領域の拡大

効率的な生産体制構築
(カーボンニュートラル、自動化等)

ADX 2023

ADX 2026

販売ターゲット

市場

製パン、製菓、
洋菓子・デザート等

+

外食産業
(ホテル・レストラン・カフェ)

対象エリア

日本、中国、
マレーシア、シンガポール等

+

欧州、北米、
インド、オセアニア、中東

食品事業② 注力製品と施策

高機能製品・環境貢献製品

海外

パン等のおいしさ持続、食品ロス削減に貢献する機能性油脂

『**マーベラス**』シリーズ

食の多様性や環境に配慮したプラントベースフード

『**デリプランツ**』シリーズ

拡大

中国・マレーシア・シンガポールの拠点活用

新設

海外市場開拓の専門組織

2024年4月

(営業+開発)

- ・原料含むサプライチェーンを構築・強化
- ・欧米、インドなどへの販路開拓
- ・生産・販売が可能な協業先の選定・拠点構築

効率的な生産体制の構築

～変化に強い事業へ～

製品・工程
の見直し
(GHG排出削減)

ファブレス
活用

自動化推進

設備投資計画

ADX 2023

大型投資なし

鹿島・明石工場

固定資産の減損実施

ADX 2026

「加工油脂」

(日本・マレーシア)

カーボンニュートラル関連、
自動化、設備の維持更新等

ライフサイエンス事業① 戦略とターゲット

現有拠点を活用し、市場成長が著しいアジア、中南米での販売拡大に取り組む

事業戦略

事業と収益の拡大

新たな収益源の開発

財務基盤の強化

ADX 2023

ADX 2026

販売ターゲット

市場

継続

農薬
(収益の柱)

新たな収益源



- ・ 医薬、動物薬（ペット）
- ・ 生物農薬、作物保護資材
- ・ スマート農業、衛生害虫

対象エリア

米州、日本、アジア・太平洋、欧州

ライフサイエンス事業② 注力製品と施策

事業と収益の拡大



拡大

- ・ 水稲用殺虫剤
- ・ 園芸用殺虫剤
- ・ 畑作除草剤
- ・ アジア太平洋
- ・ 中南米

特に、
水稲用殺虫剤「オーケストラ」を拡大させる計画
(ベンズピリモキサン)

新規事業・新たな収益源の開発

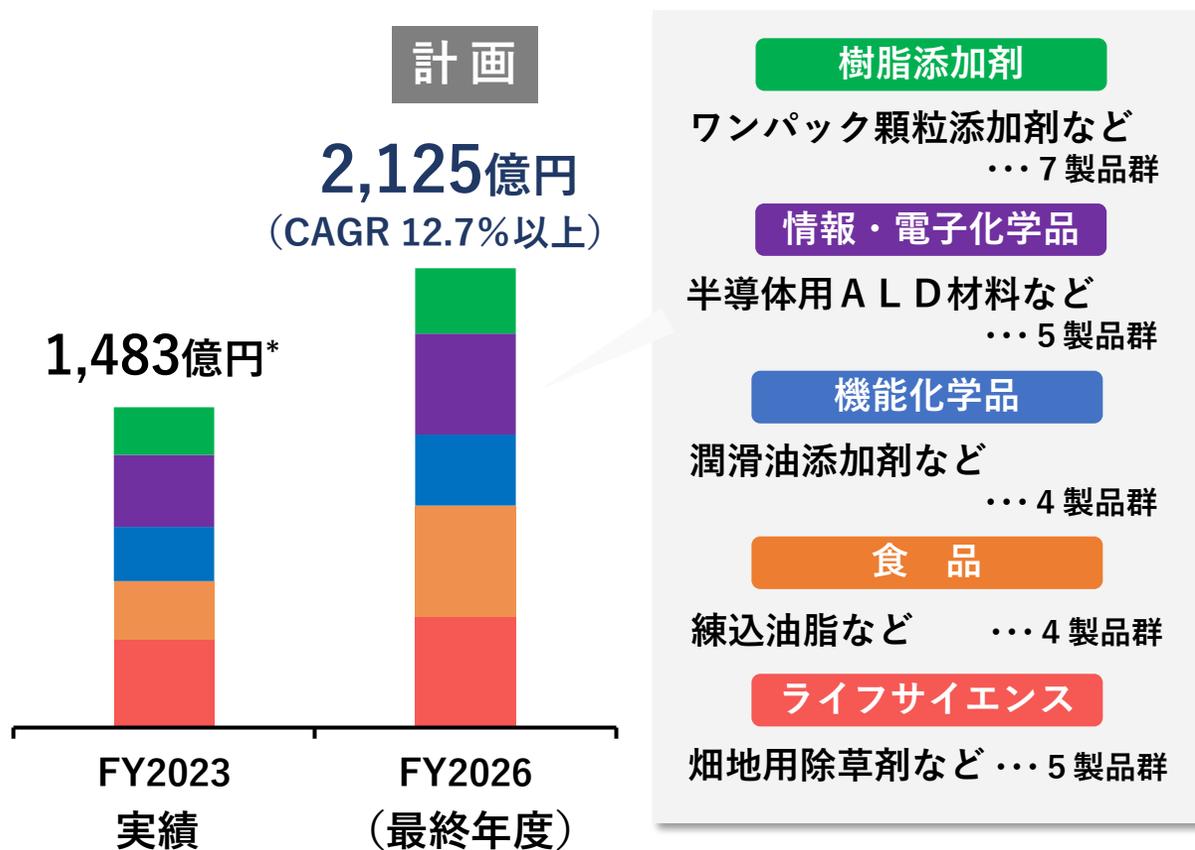
農 薬	新規殺虫剤の開発・製品化
動物薬	化合物選抜等の共同研究を継続 (A D E K A × 日本農薬)
生物農薬等	インターアグロ社資材の普及拡大 + 自社開発

設備投資計画



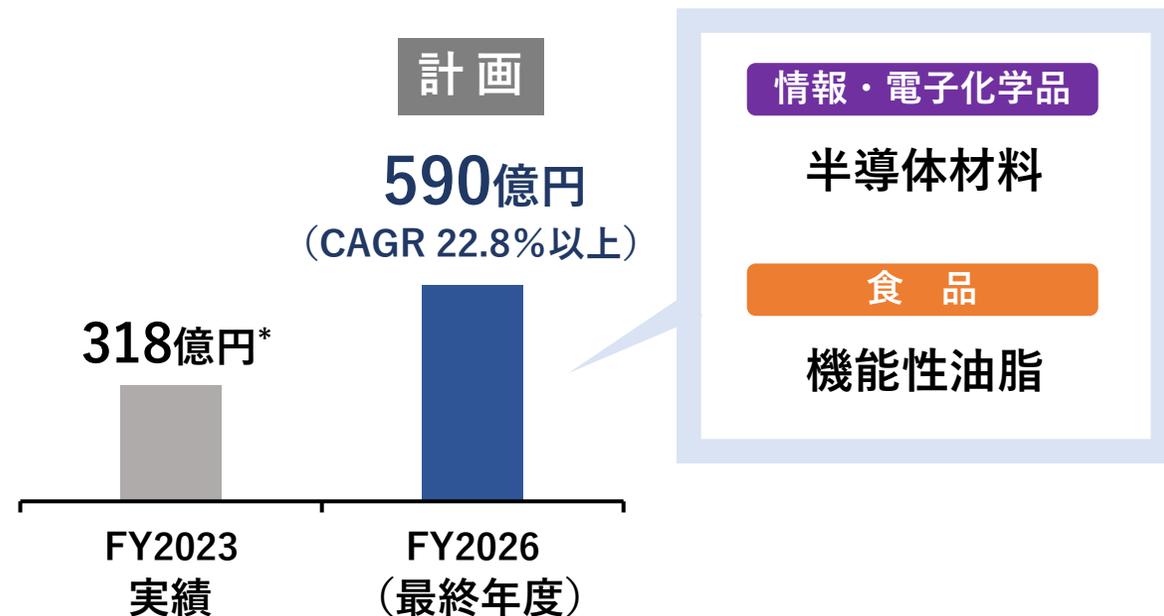
基本戦略「稼ぐ力の強化、高収益構造への転換」
戦略製品、新製品の拡大

戦略製品 売上高 (25製品群)



新製品 売上高

特に、
情報・電子化学品と食品で大きく伸ばす計画



* FY2023実績は、戦略製品、新製品ともに製品見直しを適用後の数値を記載

* 金額は億円未満を切り捨てて表記

資本効率性の向上

■ ROIC (投下資本利益率)

FY2023 実績

全社：8.3%*

樹脂添加剤	情報・電子	機能化学品	食品	LS
6%	13%	6%	5%	3%

『ADX 2026』

FY2026 計画

全社：10.5%

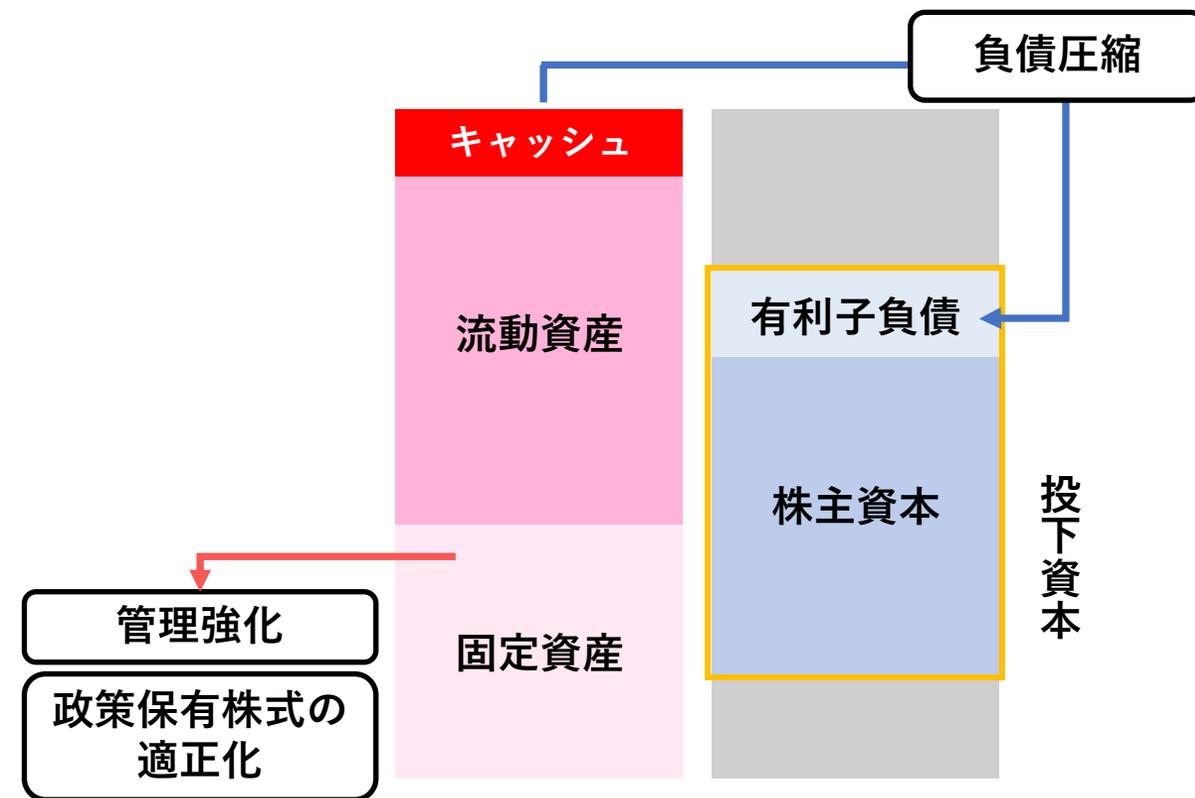
樹脂添加剤
機能化学品
食品
ライフサイエンス

収益性を高め
向上させる

情報・電子化学品

積極投資を行いつつ
高水準を志向

事業活動に関わる資産管理を強化し、
資本効率性向上に向けた取り組みを推進



* ROIC (投下資本利益率) : 営業利益 × (1 - 実効税率) ÷ 投下資本 (期首・期末平均)

基本戦略「環境貢献製品の拡大および、GHG削減推進による事業構造の変革」

『ADEKA VISION 2030』の実現に向けて、サステナビリティ優先課題「2030年KPI」を見直し

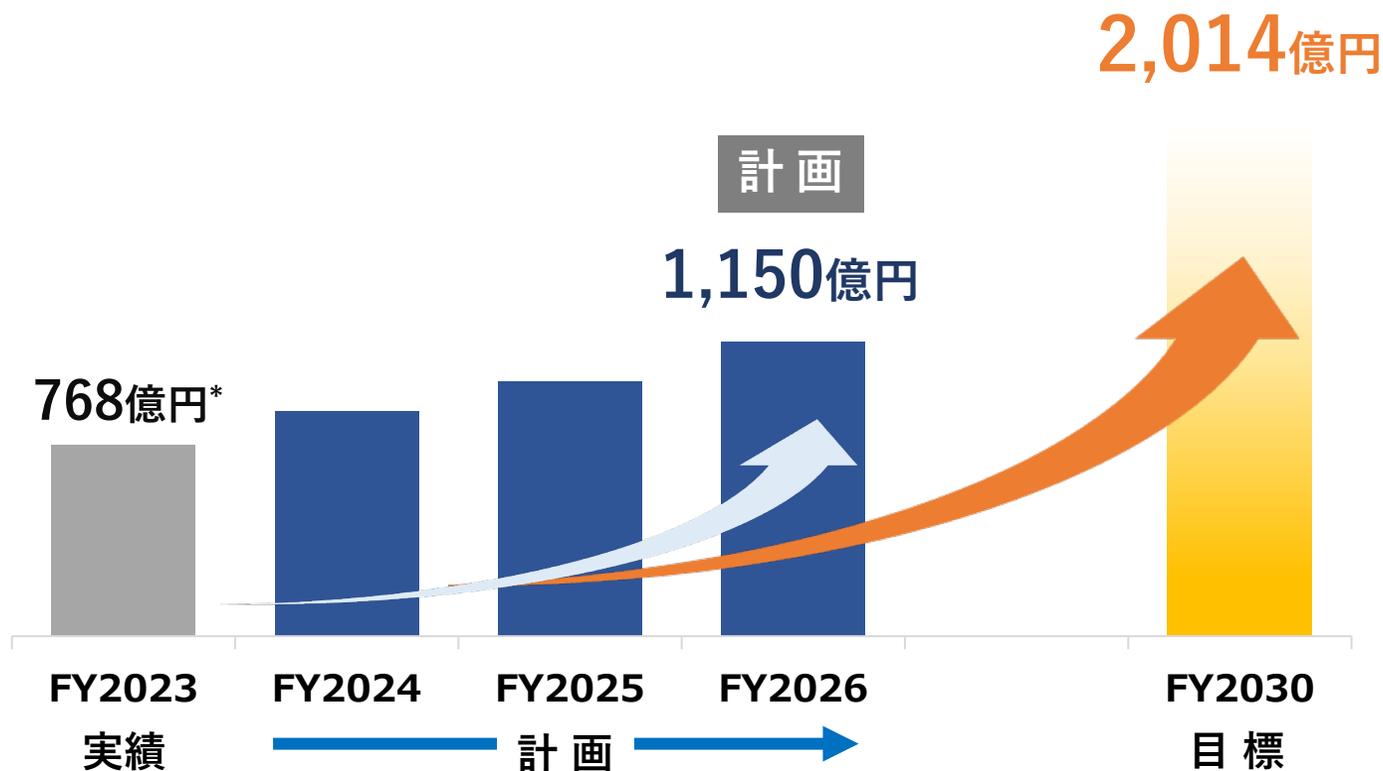
サステナビリティ優先課題		2030年 KPI	
E	地球環境の保全	オールADEKAでアイデアを結集し、2050年：カーボンニュートラルを目指す (2030年：2013年度比46%削減 (Scope 1 + 2))	
	環境貢献製品の提供	「環境貢献製品」売上高：2019年度比3倍に拡大	
S	社会の期待に応える価値創出	「ADEKA Innovative Value (AIV)」認定件数：2019年度比倍増	
	ステークホルダーとの対話	<u>ステークホルダーとの健全な関係の維持向上</u>	
	人権の尊重	<u>人権に関する取組みの高度化</u> (<u>人権デュー・ディリジェンスの推進</u> ／ <u>苦情処理メカニズムの構築・運用</u> ／ <u>人権教育・啓発活動の推進</u>)	
	人財活躍の機会拡大	<u>DE&Iの推進</u>	<ul style="list-style-type: none"> 管理職の多様性確保の推進 女性管理職比率: 10%* 外国人・経験者採用管理職比率：各々の従業員比率と同等*
		風土醸成	<u>従業員エンゲージメントの向上*</u>
健康経営の推進	「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得 (<u>ADEKAグループ(国内)</u>)		
G	グループガバナンス・リスクマネジメントの強化	<ul style="list-style-type: none"> <u>グローバルで「ADEKAグループ行動憲章」の浸透を図る</u> <u>グループ全体の平時／有事のリスクマネジメント体制の構築・運用</u> 	

* ADEKA単体

環境貢献製品の拡大と創出

ADX 2026（最終年度）

環境貢献製品売上高



* FY2023実績は、環境貢献製品の見直し（追加）を適用後の数値を記載

* 金額は億円未満を切り捨てて表記

『ADX 2026』環境貢献製品

- 脱重金属用安定剤
- 自動車部材用核剤
- イントメッセント系難燃剤 樹脂添加剤
- 環境対応型樹脂添加剤
(リサイクル樹脂用添加剤等) NEW
- UV硬化材料
- 回路形成用リサイクル材料
- 半導体用ALD材料 NEW 情報・電子
- 半導体周辺材料 NEW
- 水系塗料材料
- 接着材料 機能化学品
- 摩擦低減潤滑材料
- SOx低減対応材料
- RSPO等認定製品
- 食品ロス対応製品 食品
- プラントベースフード製品
- 水稻用箱処理剤 NEW ライフサイエンス
- 電池材料 その他

カーボンニュートラルに向けたGHG排出量削減① ロードマップ

ロードマップ

オールA D E K Aでアイデアを結集し、

2050年：カーボンニュートラルを目指す

2030年：2013年度比46%削減 (Scope 1+2)

GHG排出量

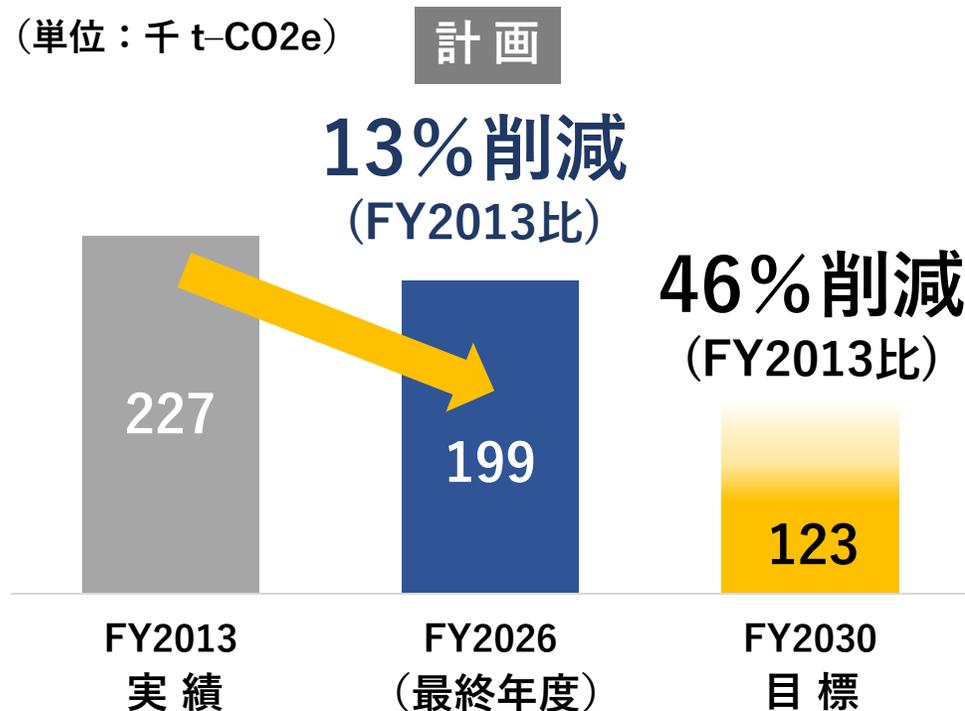
ADX 2026 (最終年度)

計画

199千t-CO₂e
(2013年度比 13%削減)

(単位：千 t-CO₂e)

計画



カーボンニュートラルに向けたGHG排出量削減② 推進戦略

GHG*1削減

製品構成見直し

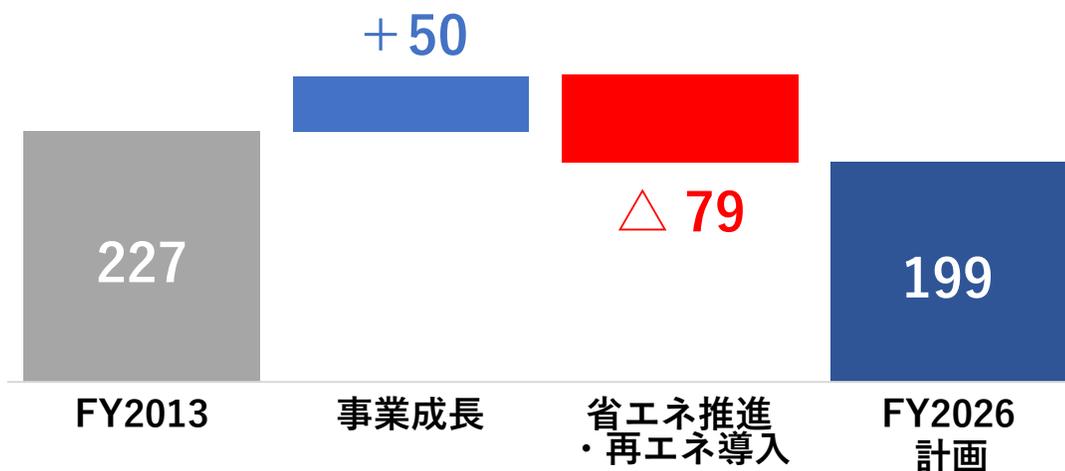
エネルギー原単位の削減

環境貢献技術の開発

再生可能エネルギーの導入

(千t-CO₂e)

GHG排出量



● 省エネ推進の主なアクションプラン

機能化学品

重油からLNGへの燃料転換 (相馬工場等)



▲ 相馬工場 (アデカサクラループ等)

樹脂添加剤

製品ミックスの最適化

食品

生産工程の最適化

- GHG排出量の可視化を推進 (GHG管理精度向上、CFP*²算定、ICP*³導入)
- カーボンニュートラル関連の投資実行 (3カ年合計: 86億円)

*1 GHG: 温室効果ガス *2 CFP: カーボンフットプリント (製品・サービスに係る温室効果ガス排出量を二酸化炭素量に換算し表示するもの)

*3 ICP: インターナルカーボンプライシング (企業内部で独自に炭素に対し価格を付け、低炭素投資・対策を推進するため使用する仕組み)

サステナビリティ優先課題の取組み① 人権の尊重

グループ全体で人権リスク低減に取り組み、
サプライチェーンにおける人権を尊重する

人権方針の策定

ADX 2023

人権デュー・ディリジェンスの推進

ADX 2026

救済・是正

ADEKAグループ人権方針
2022年2月策定

- ①人権影響評価
 - ②負の影響の防止・軽減策の実行
 - ③モニタリング
 - ④情報開示
 - ⑤苦情処理メカニズムの構築・運用
- 人権に関する苦情処理の仕組みをグローバルで構築
(JaCER「対話救済プラットフォーム」活用)

従業員に対する人権教育・啓発活動の推進

サステナビリティ優先課題の取組み② DE&Iの推進

DE&I*の推進により、
多様性を受け入れ、能力発揮における公平性を確保することで、自社の成長に活かす

*ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

プロジェクト発足

ADX 2023

DE&Iプロジェクト
9つの施策策定・実行
(2022年)

多様な人財の活躍機会拡大

ADX 2026

2026年 女性管理職比率 **6%以上*** を目指す

- ✓ DE & I の理解浸透・風土醸成
- ✓ 職群固有の課題への対応
- ✓ 公平性を確保する施策の推進
- ✓ セルフ・キャリアプランの構築と推進

女性活躍推進を軸にグループ全体へ拡大、多様な属性を活かす施策を促進

* A D E K A 単独

	FY2023	FY2026 計画	FY2030 目標
全 社	5.4%	6%	10%

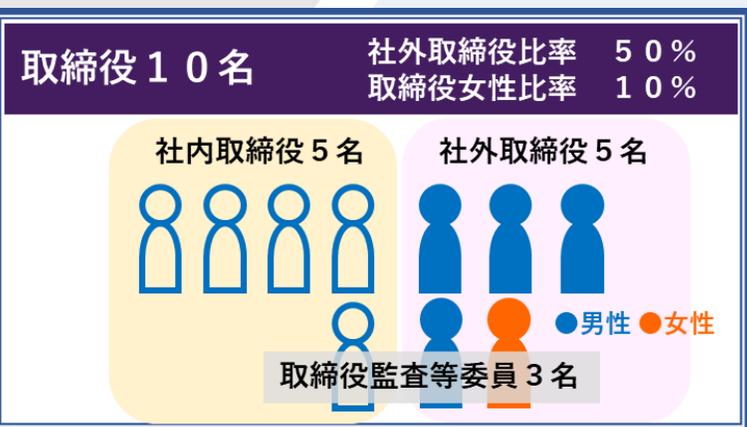
サステナビリティ優先課題の取組み③ コーポレートガバナンス

実効性のあるコーポレートガバナンスを構築し、
強靱な経営基盤のもと迅速・果断な意思決定を行う

経営体制の变革

ADX 2023

- ・ 委任型執行役員制度を導入
- ・ 指名・報酬委員会委員長を独立社外取締役へ
- ・ 非財務指標を用いた役員報酬制度を導入



コーポレート・ガバナンスの高度化

ADX 2026

① 取締役会の機能強化と実効性向上

- 監督と執行の分離推進
- より重要度の高い議案の審議
- 実効性の分析・評価を継続

② 株主との対話を推進

- 機関投資家と社外取締役の対話充実

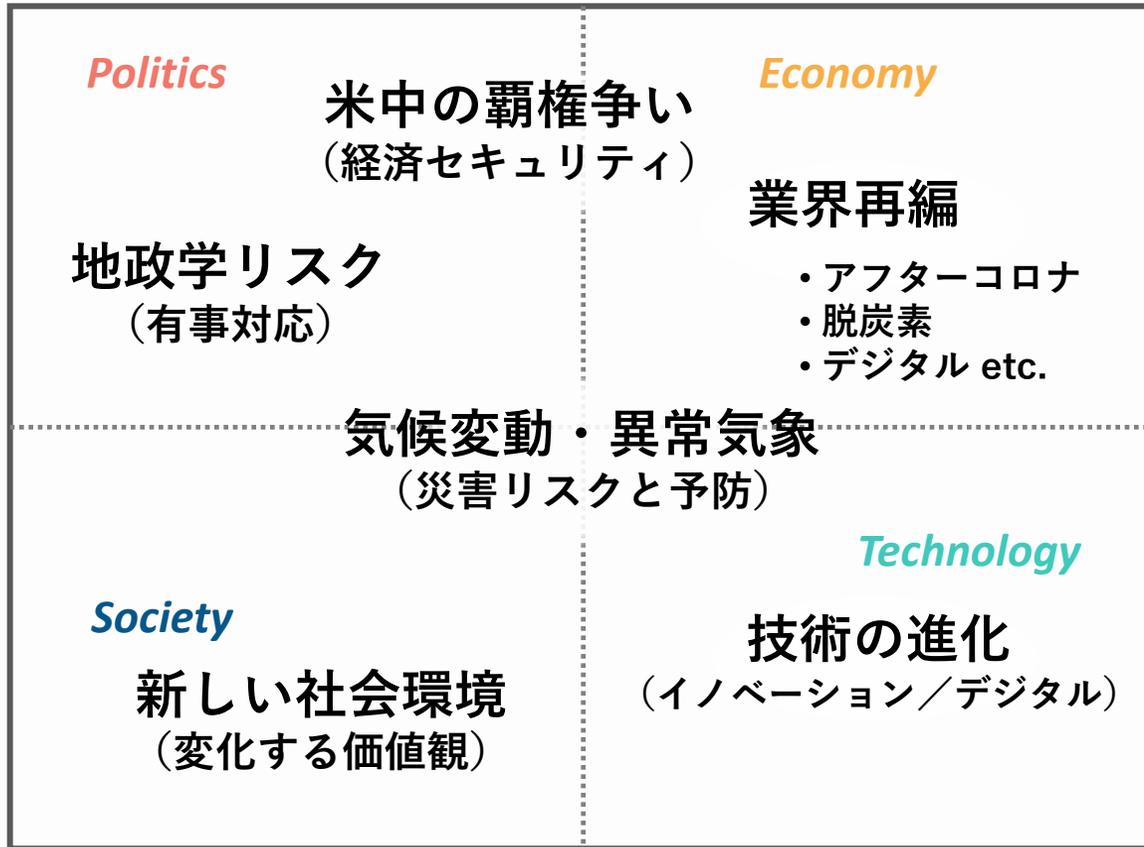
③ 社外取締役の機能強化

- 代表取締役社長後継者計画の策定
- DE & I、各種プロジェクトへの参画
- 生産・研究拠点での取締役会開催

サステナビリティや企業戦略等、
経営の大きな方向性に関する議論を充実させ、企業価値の向上を目指す

基本戦略「経営基盤の強靱化」

経営基盤を強靱化し、不確実性の高い環境において機動的に対応



経営基盤の強靱化に向けた施策

サプライチェーンの強靱化

人的資本の向上に
向けた取組み

D X 推進

サプライチェーンの強靱化

外部環境の激変にも事業継続性を担保、強靱なサプライチェーンを実現



事業戦略に沿った脱炭素原料の調査と調達

戦略製品群

- ・重要原料の把握と調達
- ・上流（加工地）の原産国把握

サプライチェーン分断への対応

- ・特定原料について調達経路の確保を推進

リスクマネジメント体制の構築

有事を想定したリスクマネジメント体制の構築

- ・情報収集、分析体制構築
- ・方針・ガイドライン策定
- ・有事対応計画の策定

カーボンニュートラルを起点とした業界再編への対応

国内コンビナートへの対応

- ・情報収集と事業戦略への反映

規制と業界標準化への対応

- ・国内外グループも含めたCFP算定

人的資本の向上に向けた取り組み

最大の経営資源である人財の配置・育成を推進し、グループの持続的成長につなげる

適時・適所・適材の実現

- 高齢者を含めた職務（ジョブ）・役割重視型の人財マネジメントの徹底
- タレントマネジメントシステムの活用、公募制の実施検討

グローバル人財育成
システムの強化

- グローバル人財の要件定義と育成制度の実行

人財への投資と
エンゲージメントの強化

- グループ従業員向けに新インセンティブプランの導入
- エンゲージメントサーベイの実施、KPIの設定・向上
- 健康経営の推進（健康保険組合と協働）

インセンティブプランの導入

当社および一部のグループ会社の従業員に対して「株式制度（当社株式）」を活用した
2つのインセンティブプランを導入

従業員向け株式給付信託
(J-ESOP)

従業員持株会向けインセンティブ
(特別奨励金スキーム)

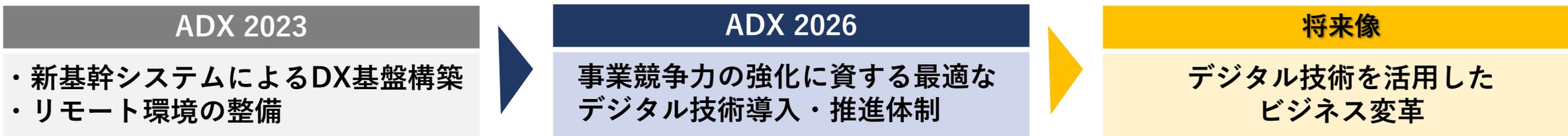
▶ 従業員の貢献度・職位等に応じてポイントを付与し、一定条件を満たした時、ポイント相当の当社株式等を給付

▶ 従業員持株会の会員で、かつ本スキームに同意する従業員に対し、特別奨励金として当社株式を付与

従業員の「経営への参画意識」「株価や業績向上への意欲・士気」を高め、
さらなる企業価値向上を図っていく

DX推進

新基幹システムにより全社のデジタル戦略を加速、継続的な業務変革を推進



■ 推進体制の構築

ステージゲートにてデジタル投資テーマを管理・実行し、全社のDXを推進

営業DX

研究DX

生産DX

バックオフィスDX

経営管理
の高度化

業務プロセス
の効率化

デジタルガバナンス
の強化

人財育成・
組織力強化

設備投資計画

		投資金額
総額（3カ年）		750
工場投資	樹脂添加剤	62
	情報・電子化学品	158
	機能化学品	44
	食品	101
	ライフサイエンス	42
	その他	50
研究投資*1		197
共通・その他 （一般、販売、システム他）		92



- ・ 久喜の新研究棟建設費用、
- ・ 設備の維持更新費用を含む

情報・電子化学品分野に
積極的に経営資源を投じる計画

先端半導体向け材料

- ・ DRAM向け新規材料
- ・ ロジック半導体向け材料等

*1 久喜地区開発研究所の新研究棟建設費用（約100億円）を含む

*2 金額は億円未満を切り捨てて表記

配当方針

『ADX 2026』配当方針

配当性向 **40%以上** 維持

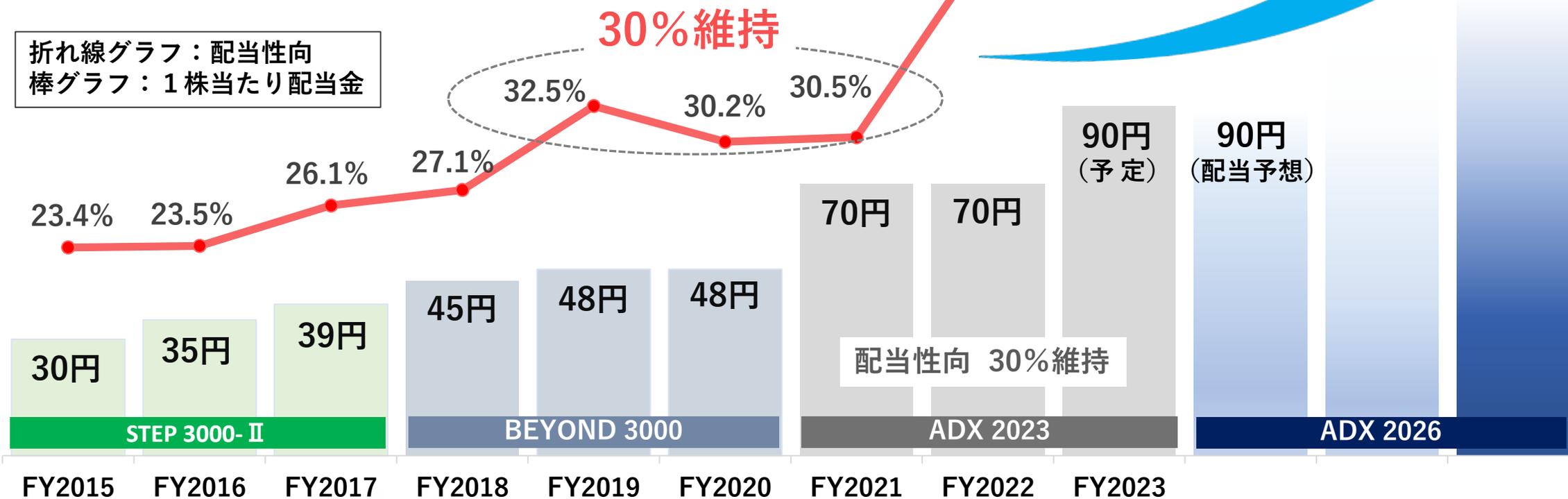
適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

折れ線グラフ：配当性向
棒グラフ：1株当たり配当金

40%超の配当水準

FY2026

30%維持



この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。

The logo for ADEKA features a stylized letter 'A' on the left, composed of a red upper half and a blue lower half. To the right of the 'A' is the word 'DEKA' in a bold, red, italicized sans-serif font.

ADEKA

Add Goodness